様式３(2020.08改)

作成日　令和　３ 年　２ 月　１２ 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392800070
事業所名	グループホームたなお

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	日頃は地域行事に参加するなど積極的に交流していたが、コロナ禍のため今年度は中止などで減少した。 町内会班長に任命され回覧板配布などで近隣の方々とのふれあいは行われている。 管理者は地域密着型施設の管理者や学生向け講座の講師を引き受け、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍の影響で運営推進会議は今年度2回書面会議、4回通常通り感染防止対策に留意して開催した。 定例議題の入退去、職員異動、事故報告、イベント、地域行政連絡、コロナ対策、意見交換などが実施され、家族などの意見については職員会議などで検討し反映できるように取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	管理者は市の介護保険事業計画策定委員会のメンバーであり、またキヤラバンメイト代表も努めており市の福祉政策に協力している。 市主催の研修会また講習会にも参画している。また認知症介護についての意見や地域包括ケアにおけるグループホームの機能充実などを市に提言している	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	コロナ禍でも家族などの面会は制限せず気楽に訪問できるよう面談担当者を決め、苦情・要望などを受け止める仕組みを作っている。 ホーム便りは毎月発行して利用者毎の情報なども写真と一緒に手紙で送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄】

運営推進会議は、通常開催を４回、書面開催を２回、計６回開催しています。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										